

付帯施設の検討について（案）

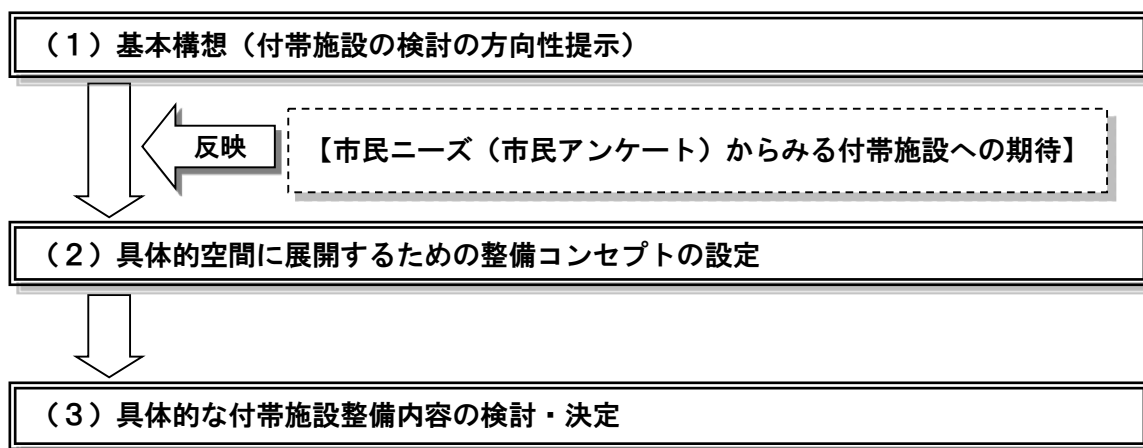
～整備コンセプトの検討と今後の検討について～

1. 整備コンセプト（案）の検討

（1）基本構想に示された付帯施設の検討の方向性

付帯施設の整備にあたっては、基本構想で検討された付帯施設整備の方向性を踏まえ、これまでの委員会意見、市民ニーズ（市民アンケート）を反映した付帯施設の整備の考え方・導入機能を具体的に空間・機能配置等に展開するための整備コンセプト（案）を検討していただきたいと考えています。

【付帯施設検討の流れ】



※整備用地を市で決定した後、周辺住民の意向を踏まえ、環境整備（災害時のエネルギー供給や避難所等の機能を含む）等を検討します。

（参考：基本構想に示された付帯施設の検討の方向性）

- ・環境学習・理科学習の要となり、学べる施設
- ・子どもから大人まで、楽しく交流でき、遊びながら体験できる施設
- ・エネルギーの有効利用が行われる施設
- ・周辺の景観に調和した施設
- ・市民の積極的な参加等により花や緑に包まれた施設
- ・災害時のエネルギー供給や避難所等の機能

等、施設整備の基本方針※に沿った付帯施設を導入

※施設整備の基本方針

- 方針1：循環型のまちづくりに寄与する施設
- 方針2：安全で環境保全に優れた施設
- 方針3：安定した稼働ができ、災害に強い施設
- 方針4：経済性・効率性に優れた施設
- 方針5：環境学習・理科学習の要となり、学べる施設
- 方針6：周辺の景観に調和し、市民に親しまれる施設

(2) 市民ニーズ（市民アンケート）からみる付帯施設への期待

付帯施設がどのような施設であることに期待しているかという設問で、「エネルギーの有効利用が行われる施設」「環境・理科学習の要、学べる施設」に対する回答が多い結果となっています。一方、「集える施設」「市民の積極的な参加等により花や緑に包まれた施設」といった、まちの賑わいにつながる機能については、回答が他に比べて少ない結果となっています。

また、ごみ処理施設のイメージについての設問では、「まちをきれいに保つために必要不可欠」「循環型のまちづくりに寄与する施設」「ごみ問題・環境について学べる施設」など、本施設が環境の維持やエネルギー問題への貢献することに期待する回答が多い結果となっています。

【市民ニーズ（市民アンケート）からみた本施設における付帯施設検討の方向性】

市民アンケートから見る期待の表れとしては、本施設の付帯施設の役割として、賑わいづくりなどに資する広場や運動施設、集会所といった施設ではなく、環境やエネルギーに対して学んだり実践したりできるような機能を持つことに力点を置くことが重要であると考えられます。

（参考：市民アンケートの結果）

設問2 新しいごみ処理施設に求めるもの

<(4) 付帯施設についてどのようにお考えですか>

- 「エネルギーの有効利用が行われる付帯施設」に期待する ……79.3%【第1位】
- 「環境学習・理科学習の要となり、学べる施設」に期待する ……37.6%【第2位】
- 「周辺の景観に調和した施設」に期待する ……30.1%【第3位】
- 「子どもから大人まで幅広い年代の方々が気軽に集い、楽しく交流でき、遊びながら体験できる施設」に期待する ……20.7%【第4位】
- 「市民の積極的な参加等により花や緑に包まれた施設」に期待する ……10.9%【第5位】

設問1 ごみ処理施設に対するイメージ

<ごみ処理施設に対して、どのようなイメージを持っていますか。>

- まちをきれいに保つために、必要不可欠な施設だというイメージ ……93.3%【第1位】
- ごみ発電やリサイクルにより、循環型のまちづくりに寄与する施設だというイメージ ……46.2%【第2位】
- ごみ問題をはじめ、環境について学べる施設だというイメージ ……37.2%【第3位】
- 災害時でもエネルギー供給ができるなど、防災のために必要な施設だというイメージ ……22.7%【第4位】
- 木々や草花がたくさん植えられていて、緑が多い施設だというイメージ ……10.1%【第8位】
- 大きい機械が動いていて、パワフルでカッコいい施設だというイメージ ……9.7%【第9位】
- 公園やグラウンドがあり、憩える施設だというイメージ ……3.8%【第11位】

(3) 整備コンセプト (案)

基本構想で位置づけられた考え方や市民ニーズ (市民アンケート) で示された方向性から、本施設の付帯施設を整備する際の整備コンセプト (案) は、以下のとおりとして設定することを考えています。

最新のごみ処理技術の実態・本物を見たり、エネルギーの活用や環境と調和の実態を実感していただくなどにより、市民のごみ処理施設のイメージを変え、環境に対する意識を高めることで、ごみ問題・環境問題に対する市民の実践に結び付けるような付帯施設を整備します。

[整備コンセプト (案)]

「本物」を「見て」「学んで」「実感」できる施設

[参考事例]

タービン発電機の仕組みを理解する体験学習設備→



↑ ごみピット

燃焼装置の模型→



↑ 施設見学・学習設備／豊中伊丹市クリーンランド
実際の施設稼働状況や、模型でわかりやすく解説することにより施設の理解促進を図ることができます。



↑ 電磁石でひっついたハンドルを引っ張ることで、磁力の強さを体験できる学習設備

← 電磁石の仕組みを理解する体験学習設備

水処理用のろ膜 (逆浸透膜) の実物→



↑ 実物展示・理科学習設備／大津市科学館
環境に関する設備の実物を間近で見ることができ、具体的なイメージを掴むことができます。